

木更津市新火葬場整備に係る説明会

木更津市 環境部 火葬場建設準備室



きさポン きみぴょん ぶつつん ガウラ

説明事項

- (1) 新火葬場整備の背景
- (2) 事業の概要
- (3) 事業者の概要
- (4) 火葬場の規模及び構造設備の概要
- (5) 工事の概要
- (6) 周辺住民への情報発信
- (7) その他
- (8) 意見・お問合せ等





(1) 新火葬場整備の背景

木更津市火葬場は、昭和42年10月に竣工、同年12月の供用開始から既に50年以上が経過し、施設及び設備の老朽化が進んでいることに加え、近年は、死亡件数等の増加により、施設の能力そのものも限界に近づいてきている。

火葬場は人生の終焉において厳粛に最後のお別れをする場所として、誰もが利用する必要不可欠な施設である。将来にわたって、市民の利用に支障をきたすことなく、安定的な火葬業務を提供していくため、新たな火葬場の整備が必要となっている。

このような状況のもと、効率的な行政運営を確保しつつ、今後の公共施設を整備していくためには、広域行政の推進が有効な手段であることから、君津4市での共同建設に向け、事業を推進することとした。

(2) 事業の概要

◆施設整備の基本方針



- 方針1 周辺環境や立地特性に配慮し、環境性能に優れた施設づくり
- 方針2 将来の火葬需要や葬儀形態に対応できる施設づくり
- 方針3 遺族や会葬者へ配慮した、故人の旅立ちに相応しい施設づくり
- 方針4 安心して利用できる、人にやさしい施設づくり
- 方針5 災害に強い施設づくり

(2) 事業の概要



事業名称 木更津市新火葬場整備運営事業

事業主体 木更津市

事業内容 施設整備業務、維持管理業務、運営業務

既存施設の解体・撤去等業務、工事用道路整備

造成工事、環境緑地業務

施設名称 令和2年度に公募することを検討中

所在地 木更津市大久保840番地3他(現火葬場西側に建設)

(2) 事業の概要



事業運営

木更津市が単独で設置する火葬場ではあるが、近隣3市(君津市・富津市・袖ヶ浦市)が応分の経費負担をすることで共同利用できる
広域連携施設

総事業費 69億9,928万1,819円(消費税8%込)

- (施設整備費) 46億8,297万3,471円
- (現施設解体・撤去費) 8,478万0,000円
- (維持管理・運営費) 22億3,152万8,348円(15年4か月)

(2) 事業の概要



負担割合

施設整備費：均等割 20%、人口(応能)割 30%、
単独整備炉(スケールメリット)割 50%

現施設解体・撤去費：木更津市 100%

維持管理・運営費：均等割 20%、利用者(応益)割 80%

負担率(令和元年8月1日現在)

木更津市 37.1%、君津市 24.1%、富津市 18.4%、袖ヶ浦市 20.4%

財源区分

一般財源 約17億円

地方債 約9億円

その他(3市負担金)約44億円

(2) 事業の概要



事業方式 PFI事業(BTO方式)

PFI事業: 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う事業

BTO方式: 民間事業者は建設後、施設の所有権を公共団体に引き渡すが、引き続き施設を運営するプロジェクト推進方式

※従来方式との違い... 従来方式では公共施設の建設、維持管理、運営等の各業務を分割し発注していたが、PFI事業では全ての業務を一括発注して行う。加えて、PFIでは従来のように細かな仕様を定めるのではなく、性能を満たしていれば細かな手法は問わない性能発注をすることで、民間のノウハウが活用される。

(3) 事業者の概要



事業者	木更津市潮見三丁目13番2号 かずさまごころサービス株式会社(特別目的会社) 代表取締役 白川 裕康
構成企業 (出資比率)	東亜建設工業(株) 70% 富士建設工業(株) 25% 千葉ネスコ(株) 5%
協力企業	(株)梓設計、(有)荒井設計事務所、日立キャピタル(株)
事業期間	令和元年6月28日から令和19年9月30日まで

(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要



◆施設設備の概要

敷地面積	33,457.02㎡
建築面積	3,412.79㎡(延べ面積4,830.11㎡)
構造	火葬棟：鉄筋コンクリート造 待合棟：鉄骨造
設備	火葬炉設備、空調設備、消火設備 ほか
主要諸室	待合室10室、告別収骨室5室、待合ホール ほか
駐車台数	普通車85台、身障者用4台、マイクロバス10台



(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要

◆施設設備の概要

火葬炉数 10基(すべて大型炉)

使用燃料 通常時:都市(中圧)ガス 非常時:LPガス

コジェネレーションシステム

熱源(ガス)から電力と熱を生産し供給するシステム。
停電対応型(BOS)のコジェネレーションシステムを
導入し、停電時にも安定した電力供給を行う。

(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要



◆ 施設の運営について

運営日数	年間約300日程度を想定 (1月1日から3日までと友引の日は休館)
運営時間	午前8時30分から午後5時15分までを予定
火葬件数	25件/日(災害時は最大75件/日)
葬送行為時間	約120分程度を想定

(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要



◆ 施設の維持管理について

(1) 日常点検

- ・毎日、始業時に点検・清掃を行い、安定した運営を提供できるように、保守管理を行う。

(2) 定期的な管理

- ・月1回の定期的な設備点検と、年3回程度植栽管理を行い、施設及び環境緑地の保全に努める。
- ・年6回の空気環境測定と、年1回程度環境衛生管理を行う。



(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要

◆ 設備故障時・災害時の対応について

(1) 設備故障時の対応

- ・不具合等を発見した場合、内容に応じ適切な処置を行う。
原則、開場時間外に補修等を行うこととする。

(2) 災害時の対応

- ・停電時でも、液体燃料を用いた自家発電機とコージェネレーションシステムの併用により、安定的な稼働が可能な計画とする。



(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要

◆使用料について

12歳以上一体7,000円(現行)

⇒「使用料・手数料等の見直しに関する基本方針」に照らし、
受益と負担の公平性を確保する観点や、近隣施設の状況などを
ふまえ、1万2,000円を軸に検討中

(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要

◆ 土地利用計画イメージ図



(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要



◆ 新火葬場のイメージ(環境緑地から見る)



(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要



◆ 新火葬場のイメージ(車寄せを見る)

(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要



◆ 新火葬場のイメージ(エントランスホール)



(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要



◆ 新火葬場のイメージ(告別収骨室)



(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要

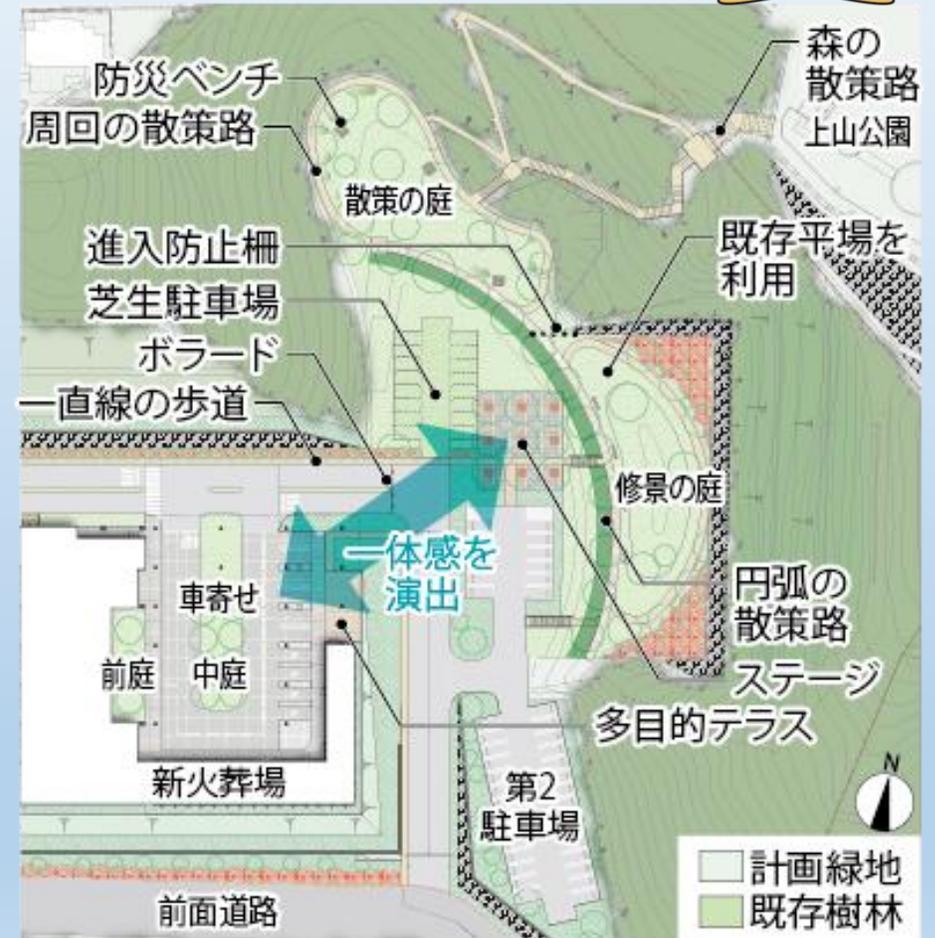


◆ 新火葬場のイメージ(待合ホールから環境緑地を見る)



(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要

◆ 環境緑地計画イメージ図



(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要



◆火葬時における排ガスの処理について 新火葬場の環境保全計画値

項目		木更津市 環境保全 目標値	計画値
排ガス濃度 (排気筒出口)	ばいじん(g/m ³ N)	0.01以下	0.008以下
	硫黄酸化物(ppm)	30以下	24以下
	窒素酸化物(ppm)	250以下	200以下
	塩化水素(ppm)	50以下	40以下
	一酸化炭素(ppm)	30以下	24以下
	ダイオキシン類濃度(ng-TEQ/m ³ N)	0.1以下	0.08以下

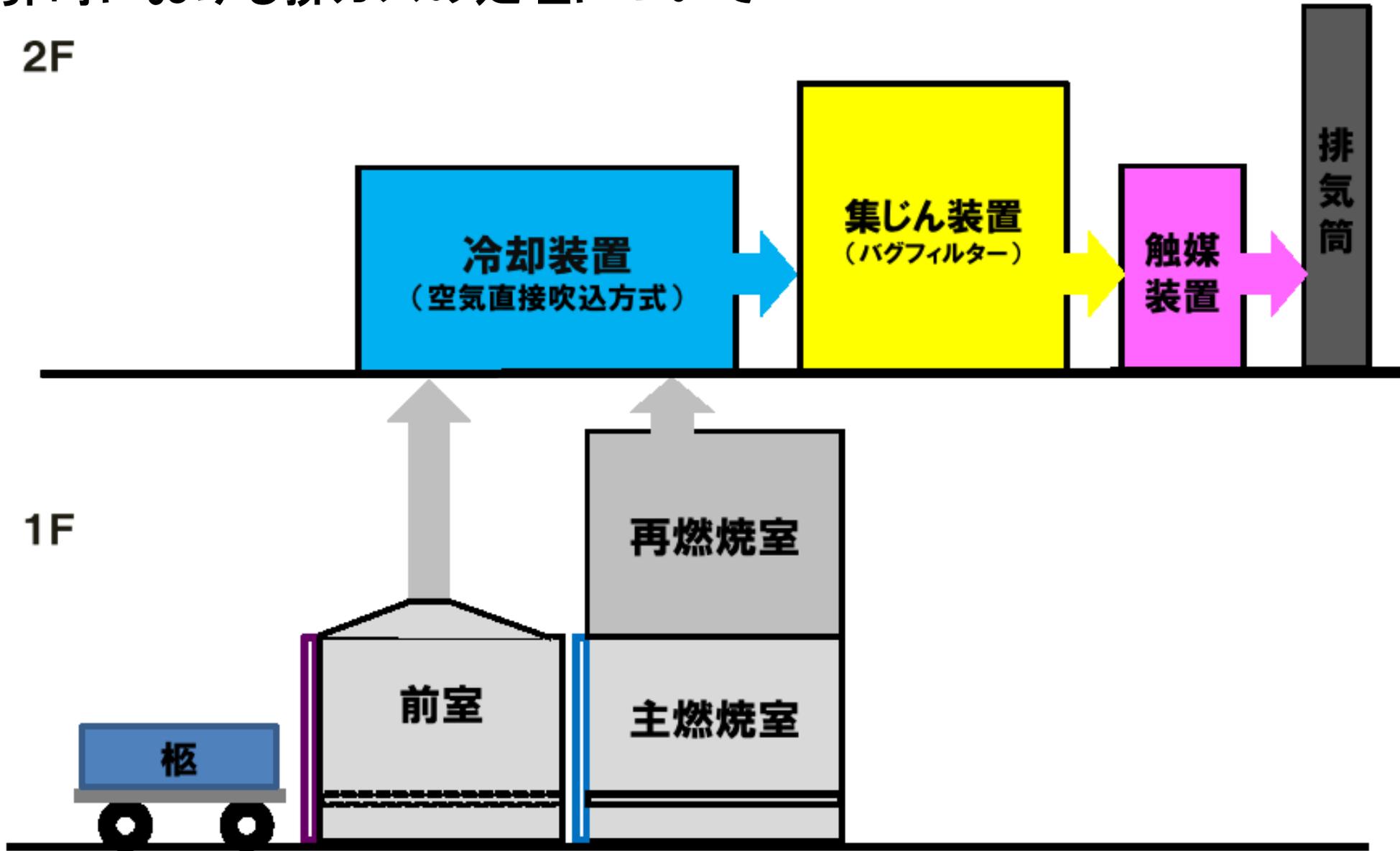
※ 全ての計画値で、木更津市環境保全目標値を下回る計画とする

※ 排ガス測定等(排ガス、悪臭、騒音、振動)の定期検査を年2回実施

(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要

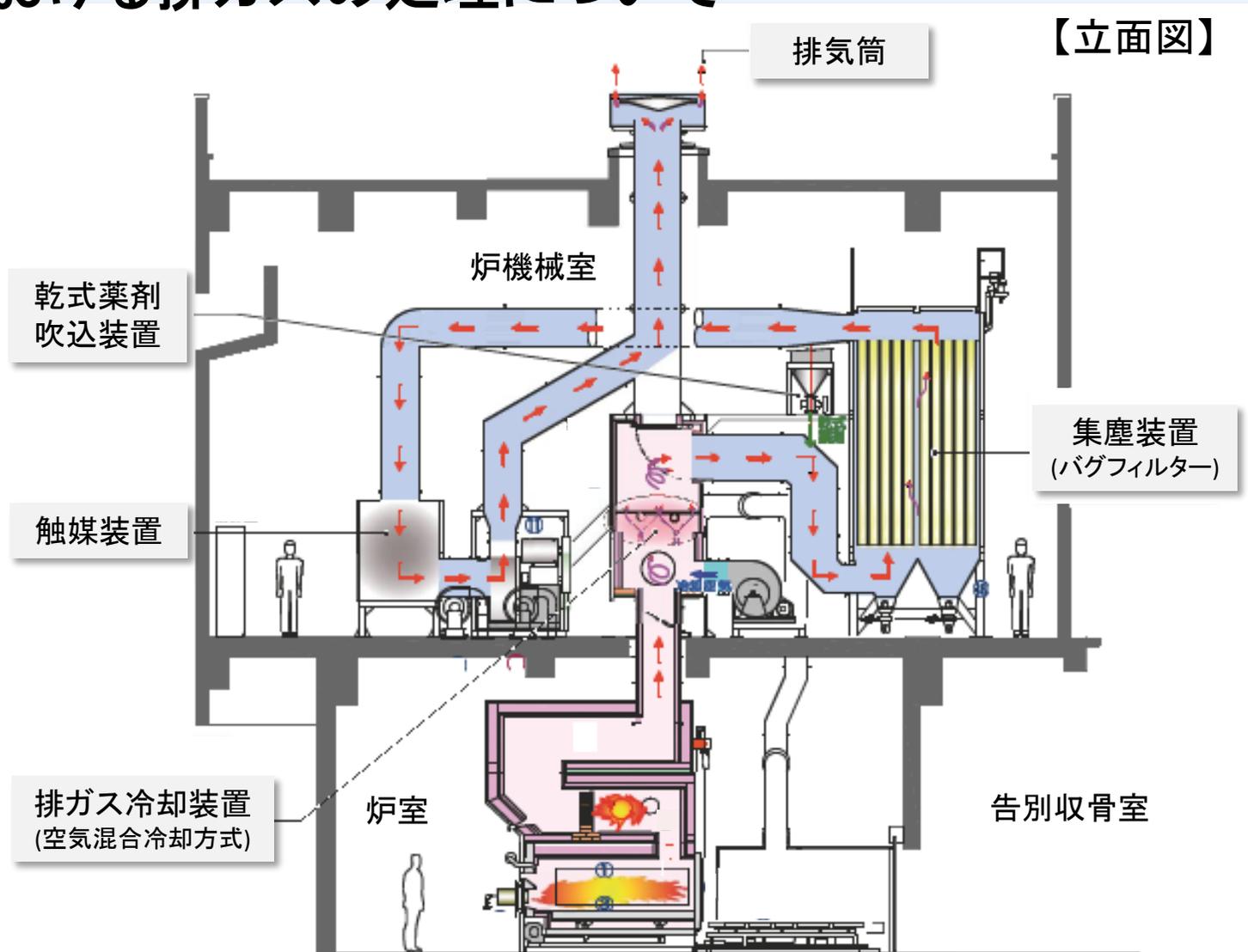


◆火葬時における排ガスの処理について



(4) 火葬場の規模及び構造設備の概要

◆火葬時における排ガスの処理について



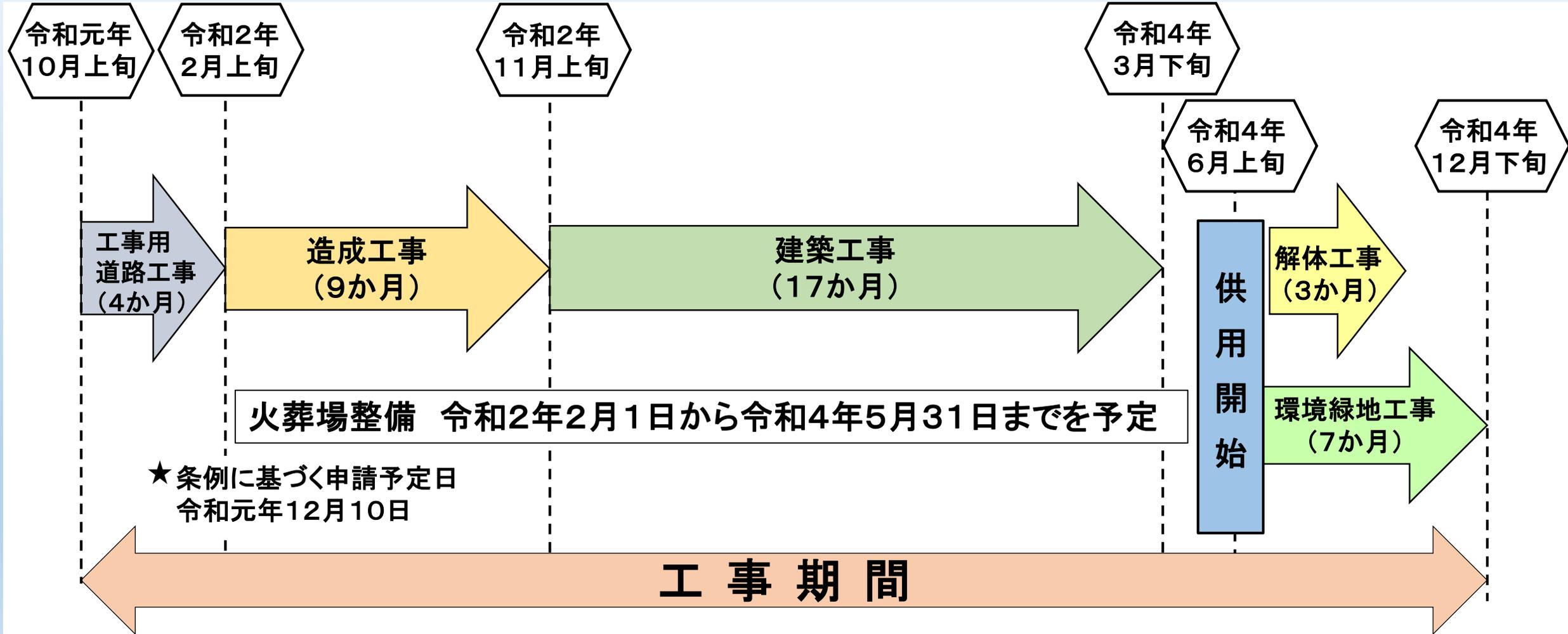
(5) 工事の概要

◆ 工事スケジュール



工事着手予定日：令和元年10月

工事完了予定日：令和4年12月下旬



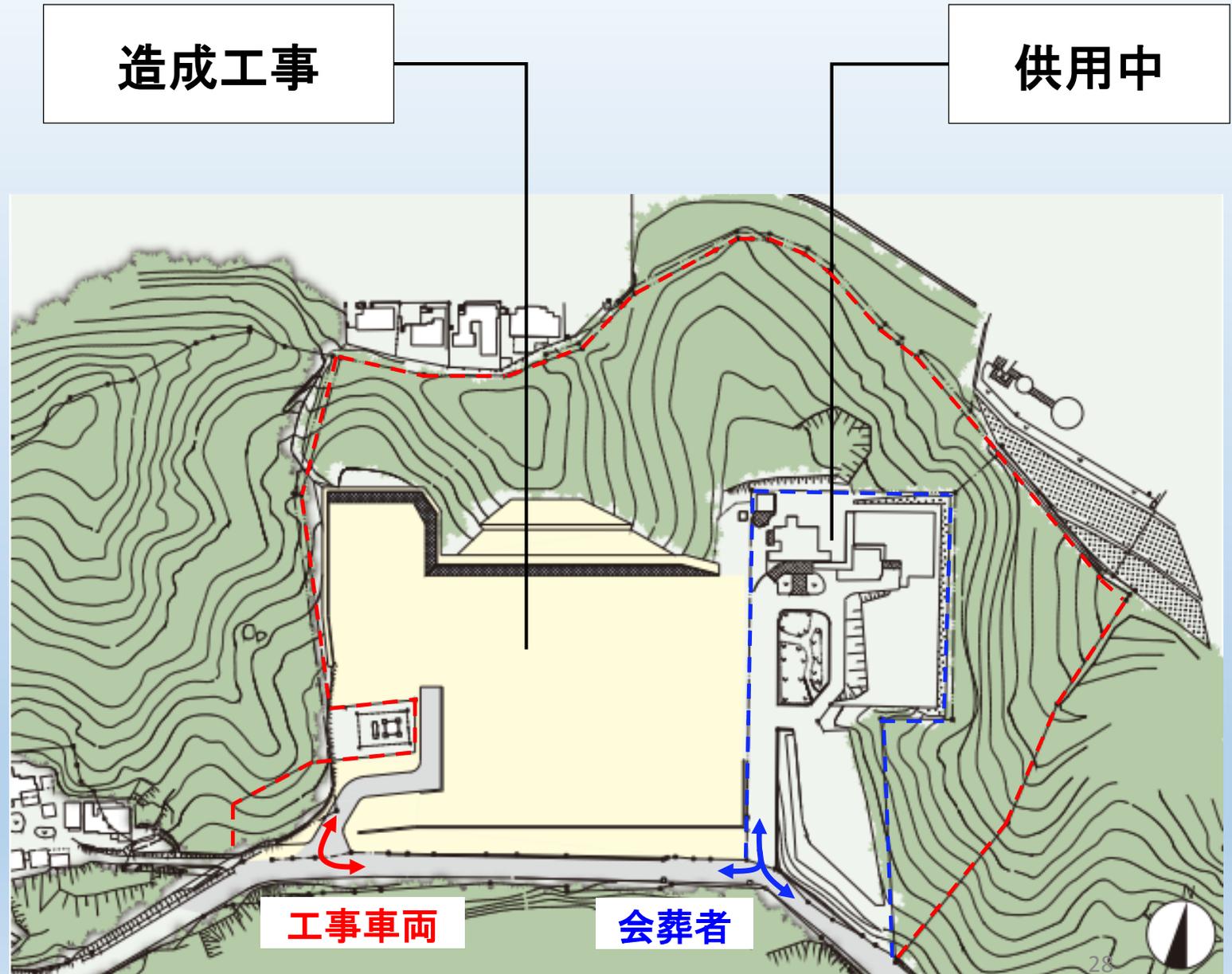
(5) 工事の概要

■ 建て替え計画概要図

◆ 建て替え計画

ステップ①

- ▶ 現火葬場敷地の西側に、新しい火葬場を建設するための造成工事を行います。



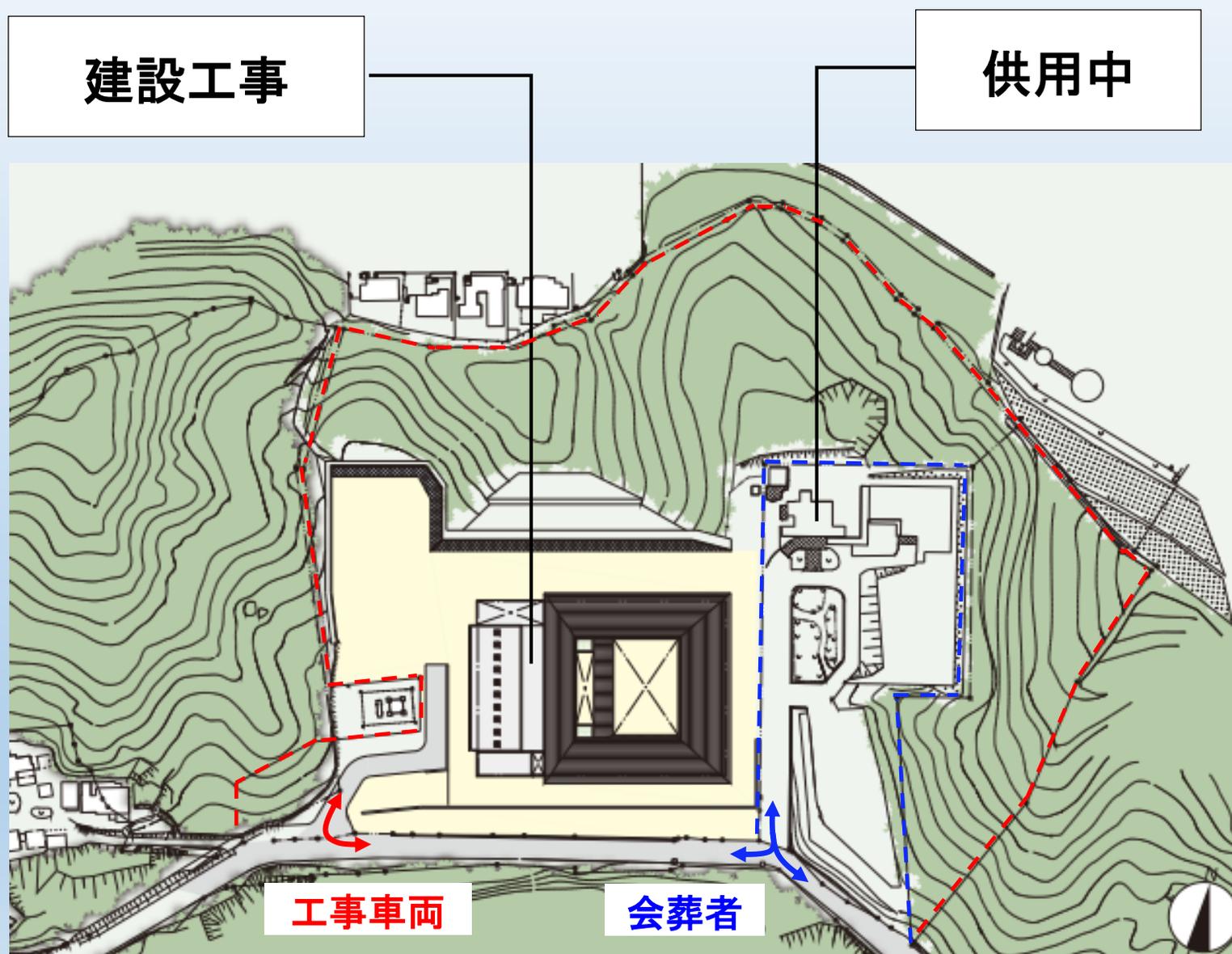
(5) 工事の概要

■ 建て替え計画概要図

◆ 建て替え計画

ステップ②

- ▶ 造成完了後、新しい火葬場を建設します。



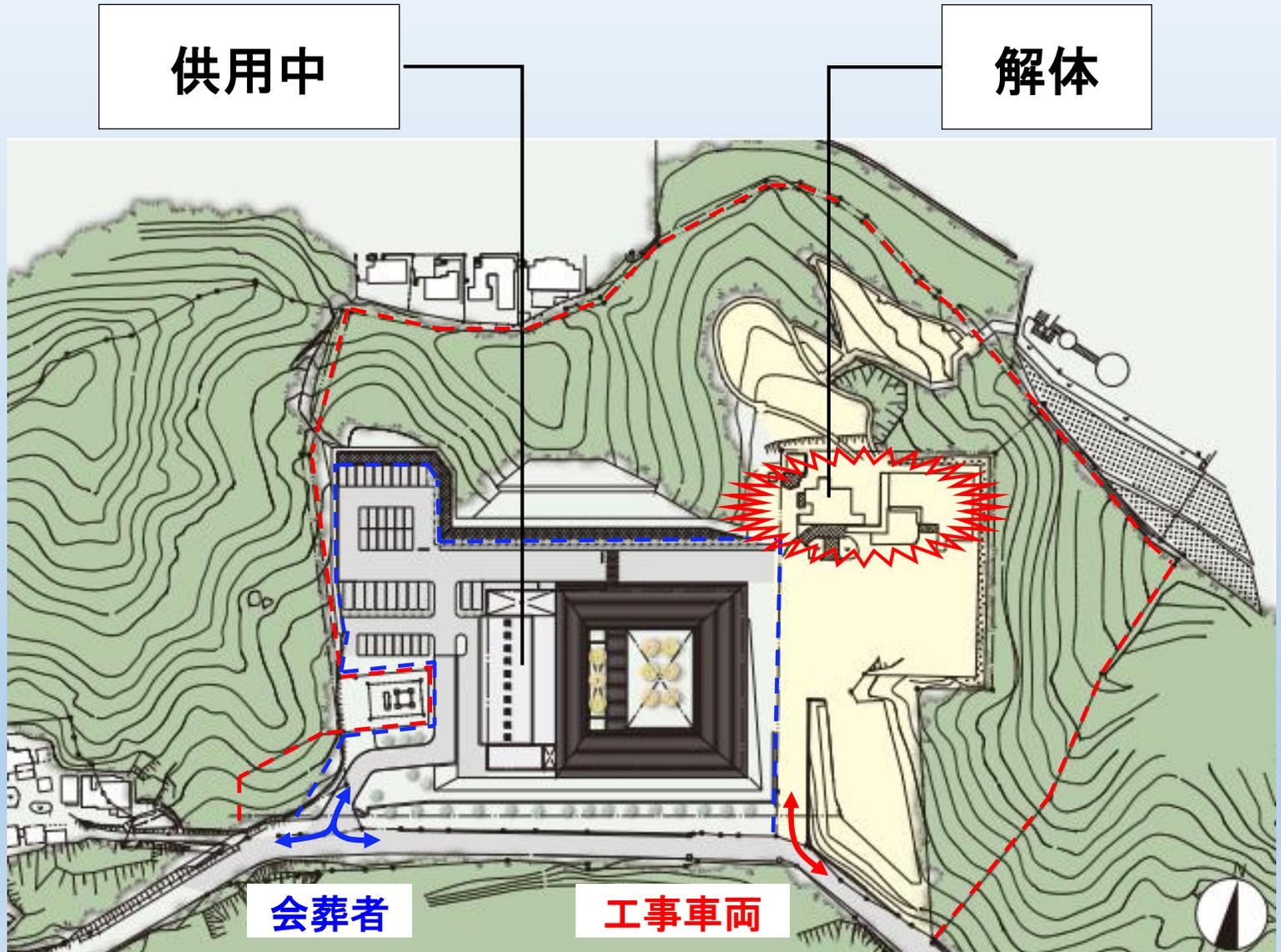
(5) 工事の概要

■ 建て替え計画概要図

◆ 建て替え計画

ステップ③

- ▶ 新しい火葬場の供用開始と同時に現火葬場は運営を停止し、施設を解体します。



(5) 工事の概要

■ 建て替え計画概要図

◆ 建て替え計画

ステップ④

- ▶ 現火葬場を解体した部分等に駐車場を整備します。
- ▶ 現火葬場の北側と東側に環境緑地を整備します。



(5) 工事の概要



◆安全対策の概要

(1) 周辺環境への配慮その1(騒音・振動等の影響防止)

- ・原則として、日曜日及び祝日、並びに年末年始は工事を行わない。
- ・作業時間は、午前8時から午後6時までを原則とし、騒音・振動の低減に努める。
 - ※コンクリート打設後の床仕上げや、室内の静作業等についてはこの限りではない。
- ・原則として、工事に使用する重機は、低騒音・排出ガス対策仕様の重機を使用する。



(5) 工事の概要

◆安全対策の概要

(1) 周辺環境への配慮その2(交通安全の確保)

- ・工事車両経路に警備員を常時配置することで、歩行者及び一般車両等を適確に誘導し、交通安全の確保を図る。
- ・工事車両の通行時間は、周辺住民の通勤・通学に影響がないよう、午前8時半から午後5時までとするが、通勤・通学の時間と重なった場合は、特に注意し歩行者等の安全確保に努める。
- ・工事車両が通行しない時間帯については、工所用道路を閉鎖することで一般車両や歩行者等の進入を制限し、事故等の発生を防ぐ。



(5) 工事の概要

◆残土処理計画

(1) 残土処理量

- ・工事用道路施工時に約1万 m^3 、造成工事施工時に約4万 m^3 、合計約5万 m^3 を搬出。

(2) 搬出先

- ・発生残土は、金田西特定土地区画整理事業地内へ搬出(運搬)をする。

(3) 1日当たりの運搬量・通行台数

- ・1日の運搬量は最大約500 m^3 の予定。
なお、運搬量は1台あたり5 m^3 であるため、通行台数は最大で片道約100台、往復約200台を予定。

(5) 事業の概要



◆残土運搬経路(金田西地区までの運搬経路)



金田西地区

国道409号

中尾交差点

火葬場

(5) 事業の概要

◆ 残土運搬経路(現場近郊)



(5) 工事の概要

◆安全対策の概要(工事用車両通行経路)



(5) 工事の概要

◆安全対策の概要



(2) 現場管理に関する安全対策

- ・既存火葬場との境と、隣地境界及び前面道路側には仮囲いを設置する。
- ・現場内は頻繁に散水し、土埃等の飛散防止に努める。
- ・工事車両は、工事区域内に泥等の汚れを落とす設備を設け汚れを工事区域外に出さないように努める。

(6) 周辺住民への情報発信



◆ 工事工程、環境調査の報告

- (1) 工事期間中、翌月の工事工程表を自治会回覧文書と事業者ホームページにおいてお知らせします。
- (2) 工事期間中、「八幡台小学校」、「波岡小学校」及び「波岡中学校」には翌月の工事工程表と、工事車両の走行台数と走行時間を示す資料を提供します。
- (3) 供用開始後は、定期的に実施する排ガスや臭気指数測定の結果を自治会回覧文書と4市ホームページにおいて公表します。

(7) その他

◆周辺道路整備について



- (1) 国道127号波岡交差点から新火葬場までの市道を拡幅整備する計画
- (2) 工事用道路(羽鳥野ルート)は将来的に市道整備する計画

(8)意見・お問合せ等

本日の説明会でご不明な点などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。
よりよい新火葬場を整備するため、皆様のご意見をお聞かせください。

1. 提出方法 任意様式に、件名を「火葬場設置等計画に係る意見の申出書」とし、
住所、氏名、連絡先と意見の内容を記入のうえ、提出してください。

2. 提出先 郵送 〒292-0838 木更津市潮浜三丁目1番地
「木更津市環境部火葬場建設準備室」あて

メール kaso@city.kisarazu.lg.jp

※件名に「火葬場設置等計画に係る意見の申出書」として下さい。

FAX 0438(36)5374

TEL 0438(36)1520

3. 提出期限 令和元年12月9日(月)必着

